

高压受電盤真空遮断器更新工事

(特記仕様書)

平成28年7月

公立大学法人秋田公立美術大学

第1章 総 則

1 適用範囲

この仕様書は『高圧受電盤真空遮断器更新工事』に適用する。

この仕様書、設計図および設計書に記載のない事項については、国土交通大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書最新版による。

2 法令関連規定の遵守

請負者は工事の施工にあたり、電気事業法、電気設備に関する技術基準を定める省令の規定に準拠して行うものとする。他諸法令並びに関連規格に従うこと。

3 提出書類

契約事項に関する書類の他、次の書類を提出すること。

(1) 営繕工事標準仕様書に準用するもの

- ア 施工計画書
- イ 承認図
- ウ 工事日誌
- エ 出来形結果表
- オ 工事完成
- カ 工事記録写真 (1部)

(2) その他

- ア 週間工程表
- イ 使用材料の品質証明書
- ウ 工事に関する協議書
- エ 試験成績表
- オ 完成図書 (1部)
- カ その他必要とする書類

4 疑 義

設計図書に定める事項について疑義を生じた場合の解釈は、監督員の指示に従わなければならない。

5 施工日等

請負者は、工事着手に先立ち現場の状況につて綿密な調査を行い、実情を把握し監督員と協議のうえ工事を施工しなければならない。

6 障害物件

工事施工中、障害物件の取り扱いについては、監督員の指示に従わなければならない。

7 保証期間

本工事の瑕疵担保期間は、引渡し日から1ヶ年とする。

第2章 工 事

1 真空遮断機 1台

(1) 一般仕様

| | |
|---------|---|
| 型 式 | V F - 1 3 C M - D 形真空遮断器 (三菱電気株式会社製屋内用) |
| 据付方式 | C W キュウビクル形 |
| 操作装置 | 電動ばね操作 |
| 真空バルブ | 汎用・低サージ用 |
| インターロック | 投入レバー用カバー付 (マルチブルコネクター) |

(2) 定 格

| | | |
|----------|------------------------|---------------|
| 準拠企画 | JISC4603高圧交流遮断器 | JEC-2300交流遮断器 |
| 定格電圧 | 7.2/3.6 kV | |
| 定格周波数 | 50/60 HZ | |
| 定格投入電流 | 31.5 kA (ピーク時) | |
| 定格遮断時間 | 3 サイクル | |
| 本体質量 | 32 kg | |
| 定格電流 | 600 A | |
| 定格遮断電流 | 12.5 kA | |
| 定格短時間耐電流 | 12.5 kA | |
| 定格耐電圧 | AC22 kV I m p . 66 k v | |
| 固定枠質量 | 10 kV | |

(3) 操作・制御電圧

| | |
|-----------|---------------|
| 閉路操作・制御電圧 | AC/DC100/110V |
| 開路制御電圧 | DC100/110 |

(4) 補助開閉器の接点数

標準 0:5a5b

(5) 標準附属品

| | |
|-----------|----|
| 挿入/引出ハンドル | 1個 |
| 盤側プラグ | 1個 |
| 手動畜勢ハンドル | 1個 |

2 デジタル型保護計電器

(1) MOC-AIV=R 電圧引外し 1式

3 計器用変圧器

- (1) PD-200KFH6600/110V200VA 2台

4 施工

- (1) 設計図書に示された設備が、その機能を完全に発揮できるように施工し、設計図書に明記のない場合でも当然必要なことは誠実に施工する。
- (2) 設計図書及び監督員の承認を得た承認図及び施工図などに従って施工する。
- (3) 経験豊富かつ優秀な技術を有する技術者を従事させる。
- (4) 監督員が指示する場合には、監督員の検査を受ける。
- (5) 施工日は、工事が実習棟の停電を伴うため、電気設備年次点検を行う8月15日（月曜日）の1日とする。

第3章 試験調整

試運転調整費は本工事内である。

第4章 その他

1 産業廃棄物等の処理

工事施行に伴う発生物の収集、運搬、処分については本工事に含まれる。「廃棄物の処理および清掃に関する法律」等に基づき適切に搬送処分し、不法投棄等第三者に損害を与えるような行為のないように、また産業廃棄物報告書（マニフェストの写し）等を提出すること。